



コスト削減の期待。故障やサポートの心配は？

故障知らず、サポートも充実—中古サーバ/PC活用

データライブ株式会社
代表取締役社長

山田 和人 氏



やまだ・かずひと

静岡県出身。名古屋大学工学部卒業。ネットワークエンジニアとして修行するかたわら、事業協同組合設立事業に参画するなど、経営者として独立を意欲。2003年システム開発会社として有限会社を設立、代表取締役。2005年社名をデータライブ株式会社に変更。2006年リユースPC販売事業開始。2007年リユースサーバ事業開始。経験と分析に基づくビジョンを語るその口調は明朗ながら熱意も垣間見せた



データライブが運営する中古PC販売サイト。法人取引にも対応し、まとまった台数の見積もり、発送手配、納品、領収書発行までスムーズ。PCの入れ替え時には高価買取も実施する



こちらのサイトでは国内外主要ベンダの中古～新品・中古サーバを取扱う。利用目的や予算に合わせて探せる

いまや企業においてIT投資は欠かせない。しかし、厳しい経済状況に直面する今日、コスト削減を通じた経営体力の向上は喫緊の課題。IT投資とコスト削減という、一見矛盾する課題を両立できる手段として、リユース(中古)サーバ/PCの活用は考えられないだろうか? 特に一台数十万円もするサーバ本体、あるいは関連機器一式を揃えるのに要する費用は安くなく、担当者にとって悩みの種だ。しかしリユースサーバを導入すれば、コストを面的に抑えることも可能になる。

「とは言え一方で、故障の問題やサポートに関する不安があるのも現状だ。販売サイト「リユースPC」「リユースサーバ.NET」を運営する、データライブ株式会社(東京・千代田)の山田和人社長に聞いた。

リユースサーバ/PC導入の一番のメリットは、荷状態が九六時間の連続ランニングテストを受け、これをクリアしたサーバだけが出荷される。HDのセクタチェックはもろろん、分解清掃やパーツ毎の動作確認も実施する。HDなしのリユースサーバもあり、ユーザはニーズや予算に応じてさまざまに選べる。

「二〇〇七年八月よりリユースサーバの販売を始めた同社だが、山田氏は「既に二百社以上の企業に当社のリユースサーバを、利用いただいているが、まず壊れない。まれに配送時の不具合が出るくらい」と語る。「新品時代に初期不良を乗り越えたりリユース機器の方が、動作は安定していると感じる」と評価するユーザもいるという。

「リユースサーバの需要について山田氏は、「従来はテスト環境を安価で構築するなどのニーズが主だったが、最近の期間限定のキャンペーンサイトの運営や、ASPサービスの提供を目的とした問い合わせが増えている」と話す。「短期間の使用では新品サーバ導入に踏み切りづらいし、サイト訪問者やASPサーバ利用者にとってサーバが新品かどうかは重要ではない。サーバが安定して動作できることが重要で、リユースサーバはその条件を十分に満たしている」。低予算で冗長構成を取ることが可能なリユースサーバは本番環境でも活用できる潜在力を持っている、と山田氏は考える。

「リユースサーバでなければならぬニーズもある。重要なアプリケーションが古いサーバ上でしか使えない場合だ。「メーカーで保証期間が終了して、それでもNTなどの古いOSでしか動かないソフトを使い続ける必要がある場合に、リユースサーバが役に立つ」と山田氏は語るが、設備投資

「ネットワークの大きさが10BASE-E3の頃からサーバを扱ってきたので、1000BASE-E1Tが当たり前の今時のサーバは何て素晴らしい

同等能で新品価格の1/4以下も IT機器の「リユースフル」活用を

「現在、リユースサーバの認知がまだまだで、普及するには国内にも市場ができることが重要。それはメーカー、リース会社、そして我々リユースサーバ取扱業者の三者の協力が不可欠」と語る山田氏。サポートの充実を通じてリユースサーバの信頼を一層高め、国内市場を作り上げたい、と山田氏は考える。

最後に山田氏は「今後はIT機器の『リユースフル』な活用が広がるだろう」と展望を語った。リユースフルとはリユースとユースフル(usage full「役立つ」)の意の造語。サーバやPCの性能が飛躍的に向上している今日、目的に応じてリユースサーバ/PCを選択することは、業務効率を損なわずにコストと資源を節約する有効な手段と言えるのではないかと(齊藤円華、写真・更科智子)

「システム開発から出発はシステム開発業務だった。山田氏もサーバエンジニアに余裕のない企業にとってリユースサーバの存在は心強い。

「現在、リユースサーバの認知がまだまだで、普及するには国内にも市場ができることが重要。それはメーカー、リース会社、そして我々リユースサーバ取扱業者の三者の協力が不可欠」と語る山田氏。サポートの充実を通じてリユースサーバの信頼を一層高め、国内市場を作り上げたい、と山田氏は考える。

「現在、リユースサーバの認知がまだまだで、普及するには国内にも市場ができることが重要。それはメーカー、リース会社、そして我々リユースサーバ取扱業者の三者の協力が不可欠」と語る山田氏。サポートの充実を通じてリユースサーバの信頼を一層高め、国内市場を作り上げたい、と山田氏は考える。

「リユースサーバ/PC導入の一番のメリットは、荷状態が九六時間の連続ランニングテストを受け、これをクリアしたサーバだけが出荷される。HDのセクタチェックはもろろん、分解清掃やパーツ毎の動作確認も実施する。HDなしのリユースサーバもあり、ユーザはニーズや予算に応じてさまざまに選べる。」

「二〇〇七年八月よりリユースサーバの販売を始めた同社だが、山田氏は「既に二百社以上の企業に当社のリユースサーバを、利用いただいているが、まず壊れない。まれに配送時の不具合が出るくらい」と語る。「新品時代に初期不良を乗り越えたりリユース機器の方が、動作は安定していると感じる」と評価するユーザもいるという。」

「リユースサーバの需要について山田氏は、「従来はテスト環境を安価で構築するなどのニーズが主だったが、最近の期間限定のキャンペーンサイトの運営や、ASPサービスの提供を目的とした問い合わせが増えている」と話す。「短期間の使用では新品サーバ導入に踏み切りづらいし、サイト訪問者やASPサーバ利用者にとってサーバが新品かどうかは重要ではない。サーバが安定して動作できることが重要で、リユースサーバはその条件を十分に満たしている」。低予算で冗長構成を取ることが可能なリユースサーバは本番環境でも活用できる潜在力を持っている、と山田氏は考える。」

「リユースサーバでなければならぬニーズもある。重要なアプリケーションが古いサーバ上でしか使えない場合だ。「メーカーで保証期間が終了して、それでもNTなどの古いOSでしか動かないソフトを使い続ける必要がある場合に、リユースサーバが役に立つ」と山田氏は語るが、設備投資

「ネットワークの大きさが10BASE-E3の頃からサーバを扱ってきたので、1000BASE-E1Tが当たり前の今時のサーバは何て素晴らしい

「システム開発から出発はシステム開発業務だった。山田氏もサーバエンジニアに余裕のない企業にとってリユースサーバの存在は心強い。」

「現在、リユースサーバの認知がまだまだで、普及するには国内にも市場ができることが重要。それはメーカー、リース会社、そして我々リユースサーバ取扱業者の三者の協力が不可欠」と語る山田氏。サポートの充実を通じてリユースサーバの信頼を一層高め、国内市場を作り上げたい、と山田氏は考える。」

メルマガ登録キャンペーン実施中

データライブのリユースサーバは「安心・安定・安価」でご利用できます。

メルマガ登録キャンペーン

キャンペーン期間中にメルマガ登録された方には、**200名様**まで先着順に**5%OFF**の特典をご用意しております。

1年間保証 **5%OFF**

どちらかお選びください。

メルマガ読者登録する

4月21日～6月30日の期間中、メルマガに登録してアンケートに答えると、「サーバ購入日よりハードディスク「1年間保証」または「サーバ・ネットワーク機器 表示価格から「5%OFF」のどちらかを選んで受けられるキャンペーンを実施中だ(先着200名限定)。詳細はこちら → <http://www.reuseserver.net/cp/>